

<週報No. 2,894> 3,005 回例会

2019年9月6日(金)

■会長/玉本 広人 ■幹事/山田 文雄

◆司会=八幡一成 SAA

◆ゲストビジター=古川静男ガバナー、小口武男ガバナー補佐、後藤正樹地区会計長

◆出席報告

本 日	85.11%	8名欠席
前 回	87.50%	6名欠席

◆ラッキーナンバー=No.20 三井章義君

◆ニコニコボックス ●後藤正樹様(松本西南クラブ)=本日は宜しくお願ひ致します。●山田文雄君=MY ROTARYアカウント登録率が50%を超えました。●小口武男君=古川ガバナー、後藤会計長、ようこそおいでいただきました。本日は宜しくお願ひします。●石田孝一君=古川ガバナー、後藤様ようこそお越しくださいました。●八幡一成君・竹上幸浩君・小平直史君・河田康幸君=古川ガバナーをお迎えして。●北川和彦君=古川静男ガバナー本日は宜しくお願ひします。●折井俊美君・平林明君・河西正一君=古川ガバナーようこそいらっしやいました。●三井章義君=古川ガバナーをお迎えして。●玉本広人君・山田文雄君=古川ガバナー・小口ガバナー補佐・後藤地区会計長、ようこそ諏訪ロータリークラブへ。歓迎申し上げます。●三井章義君=ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・玉本広人会長=本日はガバナー公式訪問ということで、古川ガバナーにお越しいただきました。古川ガバナーは非常に精力的で一生懸命で気さくな方で、私が今期 2600 地区の会長の中で最も若いこともあり、研修会などでは気にかけてくださり、よくお声がけをいただきます。私はロータリーについてよく話をしますが、個人的な話をあまりしたことがありませんでしたので、本日は自己紹介とさせていただきます。職業はクリーニング業で、(有)大成クリーニングの代表をしています。父は松本出身ですが、中学3年の時に丁稚奉公で諏訪のクリーニング店に入り、上諏訪中学校に通いながら仕事をしていました。同級生には北澤会員のお父様がいらっしやいます。昭和42年に独立し、今年で創業50周年になります。私は昭和39年、東京オリンピックの年に諏訪

で生まれました。実際は母の実家の北安曇郡池田町広津という山の中で、元々馬小屋だった部屋でお産婆さんに取り上げられました。東京の大学を出てから家業を継ごうか迷い、踏ん切りがつかず2年間過ごしていました。バイクに TENT を背負い、夏は北海道、冬は沖縄と各地でバイトしながら野宿で渡り歩いていました。2年目の冬に石垣島の砂浜で寝ていたら、そのまま砂になって溶けてしまうような不思議な感覚になり、これではまずいと諏訪に戻り父にお願いし家業に入りました。31歳、父が57歳の時に父から「お前に任せるから」と言われ、代表となりました。父は11年前に他界しましたが、自由な時間をくれたり早めに経営を任せてくれたり本当に感謝しています。82歳になる母は今でも仕事をしてくれており戦力となっています。父が亡くなってからはゲートボールの審判の資格を取得し、週に2回は試合に出かけており元気に暮らしています。家族は妻、長女、長男、次男、母。長女は厚生連北信病院で看護師を、長男は家業に入っており、次男は御殿場でイタリアンのコックをしています。趣味は、ビール、バイク、カラオケ、キャンプ、絵画鑑賞です。心書という筆文字や、気経絡調整師の資格を持っています。絵画鑑賞は次男の卒業文集に「将来絵描きになりたい」と書いていてまずいと思ひ、たまたま信濃美術館に絵を見に行ったところルノアールの「ロバに乗ったアラブ人」という絵に感動し、それ以降東京に行く際は美術館に寄るようになりました。その次男は来月横浜で結婚式を挙げることになりました。

◆幹事報告・山田文雄幹事=本日は RI2600 地区古川ガバナーの公式訪問です。古川静男ガバナー、小口武男ガバナー補佐、後藤正樹地区会計長、どうぞ宜しくお願ひします。本日が22回目の公式訪問だそうです。My Rotary について前回例会で小口ガバナー補佐から詳細説明と登録方法をお伝えいただきました。その時点でアカウント登録は11名・登録率22.92%でしたが、昨日時点で25名と登録率50%を突破できました。皆様に御礼を申し上げますと共に、更なる登録推進を目指したいと思います。9月のロータリーレートは2円円高に振れて1ドル106円です。先日の佐賀県を中心とした九州北部豪雨災害では、佐賀県内だけで死者行方不明者3名、床下浸水655棟、床上浸水782棟、更には5万リットルの油流出で苦しんでいます。佐賀・長崎の RI2740 地区宛の義捐金の

案内を入信し、どのような支援が出来るか本日の理事会に諮ります。次回9月13日例会は親睦・クラブ親善委員会担当のゴルフ例会です。11時点鐘、諏訪湖センタークラブですのでお間違え無いようにお願いします。

◆委員会報告

●会員増強・平林明君＝会員満足アンケートですが本日



最終締切となります。現在35名の回答をいただいております。100%を目指しましたがやはり難しいということが第一に検証されました。この結果はなるべく早めに皆様にお伝えします。ご協力ありがとうございました。

最終締切となります。現在35名の回答をいただいております。100%を目指しましたがやはり難しいということが第一に検証されました。この結果はなるべく早めに皆様にお伝えします。ご協力ありがとうございました。

◆ガバナー公式訪問・古川静男ガバナー＝松本西南クラブの古川です。本日は会計長の後藤さんと一緒に参りました。63年の歴史ある諏訪ロータリークラブに初めてお邪魔しました。諏訪クラブは三井



パストガバナーのご出身ですが、三井パストガバナーにはいつも諮問委員会等で大変お世話になりありがとうございます。ラッキーナンバーが三井先輩に当たって本当にほっとしています。小口武男ガバナーには1年前から準備のために色々会合を開いていますが、研修の話をさせていただいたり感謝申し上げます。実は竹上会員が高校の同じクラスの同窓で、心とむい思いです。先程玉本会長と山田幹事とお話しさせていただき、先般無事3,000回例会が終了したとのことで、活発に活動されているクラブとの印象を持ちました。クラブ計画書も他のクラブには無い素晴らしい取り組みをされており、他の地区・クラブにも紹介して参ります。本来ガバナー公式訪問はRI方針や地区方針をお話しさせていただきますが、小口ガバナー補佐に前回お話しいただきましたので、本日はガバナーの想

いをお話しさせていただきます。地区方針を立てる際、ガバナーの想いを纏めたのでそれを読みたいと思います。「ロータリーは素晴らしい団体です。ロータリーは素晴らしい人たちの集まりです。その素晴らしさを日々感じられるようになりましょう。世界のロータリーは何を目的に活動しているのか。日本のロータリーは何の奉仕活動をしているのか。第2600地区の仲間はどうな人たちなのか。各クラブはどのような活動をしているのか。まずは知ることから始めましょう。自分自身と自分のクラブをレベルアップするために、ロータリアン同志が知り合いになり、自分の人脈を広げましょう。そして他のクラブの活動を知ることにより自分のクラブをレベルアップしていきましょう。第2600地区には54クラブに1,900人以上のロータリアンがいます。県下全域に同業者や異業種の方々が活躍しています。皆さんは共通のロータリーバッジで話が出来る「仲間」です。ロータリーは、自分の人生を豊かにしてくれる「スパイス」です。世界のロータリーを見ると、アジア・インドの会員が増加しており、現在30%以上が同地域の会員となります。また、後でお話ししますがロータリーはポリオ撲滅に全力を挙げています。日本のロータリーはピーク時13万人いた会員が現在は2/3に減少しています。また、日本のロータリーは来年で100周年を迎えます。本日の鐘は100周年の鐘として、各ロータリー訪問時にはこの鐘を鳴らしていただいています。2016年の規定審議会で柔軟性と多様性の導入を決議しました。例会開催数や、会員身分など、各クラブで自由に決定してよいことになっています。今年4月に規定審議会が開催され、より柔軟なクラブ運営として、メイクアップの期間延長を行い「前後14日」から「年度内」であればメイクアップができるようになりました。メイクアップを蓄積しておいて、暫く不在となる時に充当できる、そのような改定です。これはクラブの細則で決定することができます。その他ローターアクトクラブの国際ロータリーへの加入が認められたり、職業分類制限が廃止となりました。規定審議会では日本の制定案提出が多く、日本のロータリークラブは活発に国際ロータリーの改革に取り組んでいます。次に2600地区の特徴です。1つ目は地区が単独県であること。これは11県のみで他は県が分割されていたり、複数県で1つの地区を組成しています。2つ目は1つ目の理由によりクラブ訪問を日帰りで行うことができる点です。3つ目は地区事務所があることで事務処理

いをお話しさせていただきます。地区方針を立てる際、ガバナーの想いを纏めたのでそれを読みたいと思います。「ロータリーは素晴らしい団体です。ロータリーは素晴らしい人たちの集まりです。その素晴らしさを日々感じられるようになりましょう。世界のロータリーは何を目的に活動しているのか。日本のロータリーは何の奉仕活動をしているのか。第2600地区の仲間はどうな人たちなのか。各クラブはどのような活動をしているのか。まずは知ることから始めましょう。自分自身と自分のクラブをレベルアップするために、ロータリアン同志が知り合いになり、自分の人脈を広げましょう。そして他のクラブの活動を知ることにより自分のクラブをレベルアップしていきましょう。第2600地区には54クラブに1,900人以上のロータリアンがいます。県下全域に同業者や異業種の方々が活躍しています。皆さんは共通のロータリーバッジで話が出来る「仲間」です。ロータリーは、自分の人生を豊かにしてくれる「スパイス」です。世界のロータリーを見ると、アジア・インドの会員が増加しており、現在30%以上が同地域の会員となります。また、後でお話ししますがロータリーはポリオ撲滅に全力を挙げています。日本のロータリーはピーク時13万人いた会員が現在は2/3に減少しています。また、日本のロータリーは来年で100周年を迎えます。本日の鐘は100周年の鐘として、各ロータリー訪問時にはこの鐘を鳴らしていただいています。2016年の規定審議会で柔軟性と多様性の導入を決議しました。例会開催数や、会員身分など、各クラブで自由に決定してよいことになっています。今年4月に規定審議会が開催され、より柔軟なクラブ運営として、メイクアップの期間延長を行い「前後14日」から「年度内」であればメイクアップができるようになりました。メイクアップを蓄積しておいて、暫く不在となる時に充当できる、そのような改定です。これはクラブの細則で決定することができます。その他ローターアクトクラブの国際ロータリーへの加入が認められたり、職業分類制限が廃止となりました。規定審議会では日本の制定案提出が多く、日本のロータリークラブは活発に国際ロータリーの改革に取り組んでいます。次に2600地区の特徴です。1つ目は地区が単独県であること。これは11県のみで他は県が分割されていたり、複数県で1つの地区を組成しています。2つ目は1つ目の理由によりクラブ訪問を日帰りで行うことができる点です。3つ目は地区事務所があることで事務処理

がスムーズであることです。地区の各グループの状況です。過去4年間では、地区では会員数は2018年6月末比較で29名増加、うち諏訪クラブでは13名増加していただいています。また、諏訪クラブの特徴としては会長・幹事会が頻繁に開催されており、よくまとまっているのだらうと思います。今年の地区標語は「ロータリーの魅力を広げよう」ということで、活動の第一は研修を通じてロータリーを知ろうということだと思っています。ロータリーの魅力は何か、以前100周年アンケートを取得しましたが、上位から「異業種交流ができる」「仲間・生涯の友ができる」「経営者としての学びができる」「楽しい例会」「奉仕活動・ポリオ撲滅」と並びます。ロータリーにおける異業種交流の意味ですが、自分なりにいくつか考えがあります。「名刺交換のみではない長い付き合いであること」「肩書を使わないことで相手の性格が良くわかること」「上下関係がないので相手の力量がわかること」「一生に行動することで人間性が見えること」「業種が多いので知識が豊富になること」といったことを考えます。これは利点でもありますが、欠点となる可能性もあり難しいこともあります。次にロータリーのエッセンスについてです。世界各地のロータリー会員に「あなたがロータリーで熱心に活動する理由は？」と問いかけたところ、3つに集約される答えが返ってきました。1つは「リーダーのネットワークであること」。1つは多様な会員のアイデアや職業の専門知識を活かして「アイデアを広げること」。1つは世界中の奉仕活動を通じて「行動すること」。これらがエッセンスと言われています。次に、ロータリーとは、についてです。「ロータリーの基礎」という本に拠れば、ロータリーは「利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体」ということです。つまりこれは、ロータリーは単なる親睦団体ではないということです。ロータリーの親睦は「friendship」でなく「fellowship」を使います。つまり、単なる仲良しクラブではなく、連帯とか協調の意味があります。また、単なる業界団体ではなく対等に話ができる異業種の集まりです。そして、単なるボランティア団体ではないということです。114年続く歴の中で理念に基づいて繋がっている団体であり、他の団体とは根本的に違うということをお我々は認識する必要があると思います。ロータリーは基本理念に基づいて活動しているといいますが、色々な言葉が使われます。統計すると、普遍的な基本理念があり、次にそれ

に基づく重点分野が定められていて、その中にビジョン声明があり、戦略計画があり、そして今年度の年次目標があります。普遍的な基本理念をいかに具体的に実行していくかということ、それぞれに分野・声明があるということが基本になります。よって、まず基本理念が何かということをよく理解する必要があります。これは、皆さんも良くご存じのことです。100年以上続くロータリーの基本理念は「ロータリーの目的」「ロータリーの使命」「四つのテスト」「五大奉仕」「中核的価値観」と言われる5つの言葉、これらが基本理念としてロータリーの根本にあるということです。我々はこれら基本理念に基づいて行動しているので、他の団体とは異なるということです。そのうちの「四つのテスト」は非常に倫理的な言葉として表されていますが、どういう成り立ちかと言いますと、全ては職業奉仕から発生しています。ロータリーの魅力の1つとしてポリオ根絶運動についてお話をします。ポリオは我々の生活に密接に関係しています。ポリオに一度罹患してしまうと脊髄がやられてしまい二度と治りませんので、予防ワクチンの接種が必要になります。1988年当時、125か国で毎年35万人近い子供が感染していました。この時に世界のロータリーは民間団体としてポリオの根絶に力を入れ始めました。西太西洋地域、インドを含む東南アジアからも根絶し、現在はアフガニスタンとパキスタンの2か国のみから発症しています。ロータリーはここ3年毎年5,000万ドル寄付しています。ビルゲイツ財団から1ドルに対して2ドルの寄付を受けられるので、5,000万ドルが1億5,000万ドルになり165億円を寄付していることになりました。これだけのお金が何故2か国に必要なんだ？と言われますがそうではないんですね。生まれた子供にワクチン接種をしないと、世界からポリオが無くならない限りはいつ感染するかがわからないのです。もし予防接種をしなければ1年でまた20万人のポリオ感染者が生まれてしまうと言われていました。例えば日本では、生後54か月までの子供に4回の予防接種が必要であると法律で決まっています。1回5,000円なので4回だと一人2万円、昨年生まれた子供は92万1,000人ですので、昨年ポリオの予防接種だけで日本では184億2,000万円使っているんですね。このお金は全て地方自治体、つまり我々の税金で負担しています。世界からポリオが根絶されない限りは永遠にこの予防接種はしていけないといけません。世界からポリオが根絶されたら、世界中

でこの予防接種がいらなくなるのです。つまり、我々の日々の生活の中にもこのポリオの根絶は大きく影響しているのです。日本では法律で税金を出せるようになっていますが、貧しい国では出せないでロータリーやWHOのお金を使って世界中の子供にワクチン接種をしています。よって、ロータリーがやろうとしていることは世界から無くなった天然痘ウイルスに続き、ポリオという菌を世界から無くす活動をしています。日本で使っている184億2,000万円を無くす活動として我々はロータリーに寄付をしています。ですから、他の国のことではないということではポリオ撲滅のPRをしていただけたらと思います。次に、ロータリー



アンになるために、というお話しをします。私は、新入会員は「ロータリーに入った人」で「ロータリアンではない」と思います。ロータリアンになるためには114年の歴史の中の基本理念を理解し、普通のボランティア活動ではない組織だということを理解した上で活動する。したがって、クラブは会員をロータリアンに育てる義務があります。研修や地区活動に参加したり、セミナーに出席することによってロータリアンに育っていくことが必要です。ロータリーを知らずに辞めてしまった人、こういった人はアンチロータリーになってしまいます。単にロータリーに入って合わなかったから辞めただけではなく「あそこはお昼を食べて、少しボランティア活動をしているだけよ」というように、ロータリーの本当の姿を見ずに外でロータリーのことを話してしまう人が増えてしまう。アンチロータリーを作らないように、新入会員にはロータリーの基本をしっかりと教えて育てていただきたいと思います。会員増強はどのクラブも至上命題ですが、それを語る前に我々自身が考えねばならないこと。それは「我々自身がロータリーを熱く語れるようになること」です。114年の歴史ある団体ということで、普通のボランティア団体ではない、そういう団体に入会しているんだということで、ロータリーのメリットをしっかりと語れるようにならないといけない。ロータリーを語れることによって、それぞれのクラブがイキイキとした活動を送れるようになり、魅力あるクラブにな

っていただきたい、そしてロータリアン自身が広告塔になって外に出た時は模範となる行動を心がけていただきたい。そうなることによって、ロータリアンが人生をエンジョイしている魅力的な人間になれば、そういう組織に入りたいという人も増えてくるかもしれない。そういうことが会員を増やす前のロータリアンの心構えとして必要ではないかと思います。最後になりますが、私は京セラの稲森会長のファンで、最近「心」という本が刊行され読みました。そこに人生の目的とは、自分の心を高めること（魂を磨くこと）、世のため人のために尽くす利他の心で生きること、と書かれています。利他の心についてはロータリーでもよく言われますが、これは他を利する、即ち自分のためを後回しにして隣人のために何ができるかを考え、自分が成しうる限りの行為をしてあげる、家庭では家族の幸せのために何かをする、仕事では仲間や取引先のために出来る限りのことをする、人として、また、ロータリアンとして地域社会のため、世界のため、自分ができることを精一杯に努力して行うことです。こんな生き方とロータリー活動がイコールになれば、充実した人生を送れるのかなと思います。多くの時間とお金を使ってロータリー活動をしているのは何故なのか、それはロータリー活動が人生を豊かにしてくれるからです。ロータリー活動は人生の目的ではなく、自分の人生を豊かにするための手段だと思います。ロータリーバッジは心の財産であり、2600地区のロータリアン全員が人生をエンジョイできるように繋がっていけば、一番充実したロータリアン人生が送れるのではないかと思います。このような気持でこれから1年間ガバナーを努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

◆今後の例会日程

9月13日	金	ゴルフ例会（諏訪湖カントリー）
9月20日	金	クラブフォーラム ロータリーの友特別月間
9月27日	金	アクト合同例会 ローターアクト会員増強について（夜間例会）